

モノサシ候補 「里の生きもの」

候補の理由 里の生きものは身近であり、時には利害がぶつかる。

- 食用** 食べたり薬用としたりする生きものも多い。
- 稼ぎ** 直接の利益にはつながらない生きものが多い。
- 生活** 食用だけでなく生活資材への加工も多い。
- 知恵** 生きものの生態を理解し、応用する知恵。
- 文化** 童謡や民謡にうたわれることも多い。
- 伝説** 生きものの伝説は多い。神格化される生きものもある。
- 名物** 生態をよく知る人やピオトープを作る人もいる。

遊びや娯楽 少し前までは子供はよく昆虫などで遊んだ。

- 旬** 精霊トンボや渡り鳥など季節ごとに移動する生きものも多い。
- 社会** 生物多様性や農地の多面的機能についての認知度に貢献している。
鳥獣害は大きな社会問題となっている。

そのほかのモノサシ候補

アマガエルや蛍など身近な里の生きもの。シカやイノシシ、サルなどの獣害など増えすぎたり減り過ぎたりしていることも多い。



ニホンアマガエル



タヌキ

画像提供「四国自然科学研究センター」

モノサシ候補 「川の魚」

候補の理由 高知では川の魚が身近である。



- 食用** かつてはごくごく普通にたくさんの種類が食べられていた。
- 保存食** 自給的に活用している。
- 稼ぎ** 川漁師の稼ぎがどんどん少なくなっている。
- 生活** 地域によっては鮎などが高級魚となりつつある。
- 知恵** 漁法や保存加工法に知恵が詰まっている。
- 文化** 地域ごとに実に多様。
- 伝説** 好まれる魚には伝説や口伝が多い。
- 名物** 釣り名人、投網名人がたくさんいた。

遊びや娯楽 釣りを娯楽として楽しむ人が多い。

- 旬** 漁期で季節を感じる。季節により食味も変わる。
- 社会** アユの住める川づくり。河川への関心が高い地域が多い。河川の保全への関心も強い。
- 誇り** 地元の川が誇りであったと語る方は多い。

そのほかのモノサシ候補

川や池、干潟などで食用とされる生きもの。昆虫食など。

モノサシ候補 「地域の祭りや行事」

候補の理由 貨幣経済と直接関係がない祭りや神事は地域の豊かさのモノサシ。



槽山地区の虫送り

- 稼ぎ** 観光資源としても活用されている。
- 生活** 生活の根底、心の支えになっていた。
- 知恵** お祭りの時しか作らない料理なども多い。
- 文化** 神楽や踊り。多種多様な文化の基礎。
- 伝説** 実に多様な伝説、伝承がある。
- 名物** 調理や踊り名人、神事に使う細工物名人がたくさんいた。

遊びや娯楽 かつての祭りは一大イベントであった。

- 旬** 季節の区切りで祭りが位置する場合が多い。
- 社会** 直会（なほらい）の重要性。担い手不足の課題。
- 誇り** 祭りを継承できることも誇りであるし、見てもらいたい、楽しんでもらいたいという気持ちも強いと感じる。

そのほかのモノサシ候補

地域固有のならわしや神様。公民館など地域の公的、私的コミュニティ

モノサシ候補 「人の手で作られた石垣など」

候補の理由 生活基盤を自給できることは自然の利活用であり、豊かさでもある。

- 稼ぎ** かつては人力でイシカケをツケル人も多かった。
- 生活** 山間部では家や農地を作る為に必要だった。
- 知恵** 工法に様々な知恵があった。道具の工夫もあった。
- 文化** 組み方や工法についても地域地方独自の工夫や文化があった
- 名物** 各地に様々な名人がいた。
- 社会** 自給できることの価値。
- 誇り** 地域での共同作業の重要性。

そのほかのモノサシ候補

生活の道具や生活の場を作る伝統的な知恵

